

教 育 研 究 業 績

氏名 金山三恵子
学位：博士(人間健康科学)

研 究 分 野	研 究 内 容 の キ ー ワ ー ド	
看護学, 教育学, 心理学	多職種協働, バーンアウト, 医療的ケア	
主要担当授業科目	子どもと健康, 子どもの保健, 子どもの健康と安全, 社会的養護, 医療と健康, 課題研究A, 課題研究B, 保育実習 I (施設)	
教 育 上 の 能 力 に 関 す る 事 項		
事項	年月日	概要
1 教育方法の実践例 ルーブリック評価表の作成	令和2年4月	公衆衛生看護方法論IV, 看護研究のルーブリック評価表を作成し授業に導入した。
キーコンピテンシーの育成を目指した教材の開発	令和4年4月	コロナ禍におけるアクティブラーニング実践のための教材を開発し, 教育実践報告を行った。教育実践報告第14号。四国大学学修支援センター(2022) 著者:金山三恵子
2 作成した教科書, 教材 学生が手作りできる胎児人形	平成29年3月	妊娠2か月から妊娠9か月までの各月の胎児人形を学生が手作りする教材を開発し, 日本教材学会東海・近畿・北陸支部研究会で展示と発表を行った。
コンパクト版 保育者養成シリーズ<新版>乳児保育, 第7章 安全な環境と乳児保育	平成30年3月	保育者養成テキスト。第7章担当。乳幼児の健康を守るための衛生環境の整備, アレルギー疾患, 乳幼児突然死症候群, 感染性胃腸炎など乳幼児に多く見られる疾病を予防するための保育方法などについて説明する教科書。pp57~64(全148頁) 監修:高田貝公昭, 石橋哲成 編著者:高橋弥生, 石橋優子 著者:高橋弥生, 石橋優子, 金山三恵子他
コンパス 障害児保育, 第6章 重症心身障害・医療的ケア	平成30年4月	保育者及び障害児施設等職員を対象としたテキスト。重症心身障害のある子どもや医療的ケアを必要とする子どもを理解するために必要な定義や障害の経過などを説明。障害のある子どもの健康を守るための保育内容について具体的に説明した教科書。pp81~88(全186頁) 編著者:武藤久枝, 小川英彦 建帛社 著者:武藤久枝, 小川英彦 金山三恵子他
子どもの保健[シリーズ知のゆりかご]	令和7年3月	保育士に求められる子どもの健康と安全を守るための知識と実践力を養うためのテキスト。この著書の中の第8章子どもの生活習慣の支援について執筆。pp124~147(全227頁) 編著者:谷川友美 著者:谷川友美, 大西薫, 金山三恵子他
3 教育上の能力に関する大学等の評価 教員業務評価	令和3年6月	四国大学・令和2年度教員業績評価に基づく成績優秀者
教員業務評価	令和4年6月	四国大学・令和3年度教員業績評価に基づく成績優秀者
4 実務の経験を有する者についての特記事項 看護臨床実習・介護臨地実習指導 教育実習生指導教官及び福祉科教科主任	平成11年4月~ 平成20年3月	病院及び社会福祉施設などにおける看護師国家試験受験資格取得に掛かる臨床実習指導を担当した。 高等学校教諭1種免許状(看護)取得に掛かる教育実習を担当した。 介護福祉士養成等に関する教育課程の編成や教科書選定等を担当した。 高等学校教諭1種免許状(福祉)取得に掛かる教育実習を担当した。
京都大学医学研究科時間雇用教職員	平成24年6月	小児看護学講座の補助教員(TA)として授業を担当した。

京都大学学びのコーディネーター(講師)	平成 25 年 4 月～平 成 27 年 3 月	京都大学の高大連携事業で「障がい児と共に生きる社会づくり」をテーマに全国の高等学校で出前授業を実施した。 2013 年度:鹿児島県立鶴丸高等学校他 7 校 2014 年度:千葉県立千葉高等学校他 7 校
中部大学現代教育学部夏季オープンキャンパス公開模擬授業(講師)	平成 27 年 4 月～平 成 30 年 8 月	中部大学のメインオープンキャンパスの公開模擬授業を担当した。
中部大学フレンドシップ活動(わんぱく隊)	同上	教育系大学(全国)の学生が取り組むフレンドシップ活動(体験型自主活動)の中部大学担当教員として学生と共に地域の子育て支援活動を行った。平成 27 年度, 愛知県より第 46 回青少年団体等として表彰された。
中部大学幼児教育セミナー(講師)	平成 28 年 11 月	現職の保育士・幼稚園教諭を対象にエビペンの使用方法についての実技講習を行った。講習の反響が高く, 講習会の依頼が複数件あった。
国際協力機構(JICA)「産業技術教育」研修(講師)(講師)	平成 29 年 11 月	国際協力機構(JICA)「産業技術教育」研修において「高齢者のレクリエーション療法の紹介と体験(折り紙)」をテーマに講義と演習を行った(英語)。
教員免許更新講習	令和元年 8 月	小・中・高等学校及び特別支援学校の教職員を対象に教員免許状更新講習会で講師をした。
教員免許更新講習	令和 2 年 8 月	同上
教員免許更新講習	令和 3 年 8 月	同上
徳島保健所地域保健従事者人材育成研修会	令和元年 12 月	「地域保健活動における多職種連携のありかた」について徳島県の保健師等地域保健従事者に講義や演習を行った。
徳島県在宅療養児支援関係者研修会	令和 2 年 1 月	「災害時支援のための多職種連携」をテーマに在宅療養児を支援する医療・福祉・行政等の関係者に講義や演習を行った。
四国大学オープンキャンパス公開模擬授業(講師)	令和元年 4 月～	四国大学看護学部オープンキャンパスの公開講座を担当した。
徳島県高等学校教育研究大会養護学会研究会(講師)	令和 4 年 8 月	徳島県高等学校教育研究大会で「災害が起きたっ。その時どうする?～養護教諭としての災害への備えを考える～」というテーマで講師を務めた。
徳島県鳴門渦潮高等学校研修会(講師)	令和 4 年 10 月	アレルギーと日常生活について高等学校教員を対象に講義を行った。
小松島・勝浦地区給食担当者研修会(講師)	令和 4 年 11 月	食物アレルギーについて保育所給食担当者を対象に講義を行った。
美馬保健所研修会	令和 4 年 11 月	「災害時に私たちにできること～障がい者の防災を考える～」というテーマで講義を行った。
5 その他		
職 務 上 の 実 績 に 関 す る 事 項		
事項	年月日	概要
1 資格, 免許 看護師免許状	平成 4 年 5 月	登録番号: 第 765380 号
養護教諭一種免許状	平成 5 年 3 月	登録番号: 平 4 養 1 第 44 号
保健師免許状	平成 5 年 5 月	登録番号: 第 72849 号
高等学校教諭一種免許状 (看護)	平成 11 年 1 月	登録番号: 平 10 高 1 第 121 号
高等学校教諭一種免許状 (福祉)	平成 13 年 4 月	登録番号: 平 13 高 1 第 31 号
公認心理師	平成 30 年 11 月	公認心理師国家試験合格 (合格証書番号: 第 1001021574 号) (免許登録申請中)
(特別支援学校教諭二種免許状取得に掛かる単位取得済み)	(平成 24 年 3 月)	(特別支援学校教諭二種免許状取得に掛かる単位取得済み)
2 特許等		

3 実務の経験を有する者についての特記事項				
4 その他				
研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書) 1 災害時における家族支援の手引き	共著	平成 10 年 3 月		災害時における、在宅障害児・慢性疾患児への対応、避難所を中心に身体的・精神的要医療児の早期発見と適切な処置などについて記載し、保母、教諭、保健師など子どもと関わりをもつ職種の人々に役立てることを目的として編纂した。
2 コンパクト版 保育者養成シリーズ<新版>乳児保育、第 7 章 安全な環境と乳児保育	共著	平成 30 年 3 月	一藝社	「災害時における家族支援の手引き」編集委員会の編集会議によって編纂したため、執筆部の特定は困難である。(全 69 頁) 編集委員会委員長：中村肇 編集委員：高田哲、北山真次、井出浩、三宅芳宏、藤井久子、 <u>金山三恵子</u> 他 保育者養成テキスト。第 7 章担当。乳幼児の健康を守るための衛生環境の整備、アレルギー疾患、乳幼児突然死症候群、感染性胃腸炎など乳幼児に多く見られる疾病を予防するための保育方法などについて説明する教科書。pp57～64(全 148 頁) 編著者：高橋弥生、石橋優子
3 コンパス 障害児保育、第 6 章 重症心身障害・医療的ケア 1	共著	平成 30 年 4 月	建帛社	著者：高橋弥生、石橋優子、 <u>金山三恵子</u> 他 保育者及び障害児施設等職員を対象としたテキスト。重症心身障害のある子どもや医療的ケアを必要とする子どもを理解するために必要な定義や障害の経過などを説明。障害のある子どもの健康を守るための保育内容について具体的に説明した教科書。pp81～88(全 186 頁) 編著者：武藤久枝、小川英彦
4 子どもの保健[シリーズ知のゆりかご]	共著	令和 7 年 3 月	みらい	著者：武藤久枝、小川英彦、 <u>金山三恵子</u> 他 保育士に求められる子どもの健康と安全を守るための知識と実践力を養うためのテキスト。この著書の中の第 8 章子どもの生活習慣の支援について執筆。pp124～147(全 227 頁) 編著者：谷川友美 著者：谷川友美、大西薫、金山三恵子他
(学術論文) 1 特別支援学校の医療的ケアチームにおける協働の促進要因の探求(兵庫教育大学学長賞受賞)	単著	平成 24 年 2 月	平成 23 年度ベネッセ教員育成研究奨学金研究成果報告・P43-P53 兵庫教育大学	在宅で医療的ケアを受けながら特別支援学校に通学している子どもの支援を行っている医療的ケアチームの協働を測定する尺度を作成し全国調査を実施した。また、バーンアウトについても調査を実施し、協働の成否がバーンアウトに与える影響について重回帰分析等の分析を行った。その結果、協働の成否がバーンアウトに影響を与えるという知見を得た。この結果から、障害児を支援する上で、医療的ケア従事者のよりよい協働関係が重要であることを実証した。
2 特別支援学校の医療的ケアにおける協働を促進する要因— 一般教職員・養護教諭・看護師の協働とバーンアウトに着目した分析— (修士論文)	単著	平成 24 年 3 月	兵庫教育大学大学院	在宅で医療的ケアを受けながら特別支援学校に通学している子どもの支援を行っている医療的ケア従事者 396 名を解析対象者とし、バーンアウトと協働との関係について縦断調査データを潜在クラス成長分析を用いて解析した。その結果、質的に異なるバーンアウトと協働の時

<p>3 医療的ケア従事者の協働達成感尺度の開発—特別支援学校の医療的ケア従事者の協働を促進する要因—</p>	<p>共著</p>	<p>平成 26 年 7 月</p>	<p>小児保健研究第 73 巻 4 号 P608-P612 . 日本小児保健協会</p>	<p>間的経過に伴う4タイプの軌跡を見いだした。バーンアウトを予防するための介入時期などを明らかにした。これらの知見をもとに障害を有する子どもが安心して通学できる医療的ケアのシステムづくりについて提言した。 在宅で医療的ケアを受けながら特別支援学校に通学している子どもの支援を行っている医療的ケアチームの協働達成感を測定する尺度を開発した。探索的因子分析を行い、協働達成感を 1)組織・システム要因, 2)専門性に関する対人関係要因, 3)日常的対人関係要因の3つの下位尺度からなる協働達成感尺度を作成することによって、協働の成否について定量的評価を可能とした。 著者: <u>金山三恵子</u>, 岩井圭司</p>
<p>4 Longitudinal Burnout-collaboration patterns in Japanese medical care workers at special needs schools: a latent class growth analysis</p>	<p>共著</p>	<p>平成 28 年 11 月</p>	<p>Psychology Research and Behavior Management 14 June 2016:9 pp139-146. Dove press</p>	<p>在宅で医療的ケアを受けながら特別支援学校に通学している子どもの支援を行っている医療的ケア従事者 396 名を解析対象者とし、バーンアウトと協働との関係について縦断調査データを潜在クラス成長分析を用いて解析した。その結果、質的に異なるバーンアウトと協働の時間的経過に伴う4タイプの軌跡を見いだした。バーンアウトを予防するための介入時期などを明らかにした。障害児を支援する上で医療的ケア従事者のバーンアウトを予防することが重要であることを実証した。 著者: <u>金山三恵子</u>, 鈴木真知子, 遊間義一 上記を博士論文として発表した。</p>
<p>5 Longitudinal burnout-collaboration patterns in Japanese medical care workers at special needs schools: a latent class growth analysis(日本の特別支援学校の医療的ケア従事者におけるバーンアウトと協働の推移パターンの解明—縦断データを用いた潜在クラス成長分析—)(博士論文)</p>	<p>単著</p>	<p>平成 28 年 6 月</p>	<p>京都大学大学院</p>	
<p>6 教員・保育士養成課程における実践的指導力を育成する教育支援プログラムの報告—フレンドシップ活動 10 年目の取り組みについて—</p>	<p>共著</p>	<p>平成 29 年 3 月</p>	<p>現代教育学研究紀要第 10 巻 P39-P47 . 中部大学現代教育学研究所</p>	<p>全国の教員養成系大学で取り組まれているフレンドシップ事業への参加を通して、中部大学のプログラムが、学生自身が組織運営に携わり、他の学生と協働的に企画・実践・反省を往還する経験が組織運営能力やリーダーシップ、省察的実践の能力の育成に繋がっているかを考察した。 著者: 采鼻真澄, <u>金山三恵子</u></p>
<p>7 シルエット図による大学生のボディイメージと瘦身願望, 生活行動との関連についての検証</p>	<p>単著</p>	<p>令和 2 年 12 月</p>	<p>四国大学紀要 (B)51:9-18 , 2020. P9-P18 四国大学</p>	<p>BMI と対応させたシルエット図を用いて大学生のボディイメージの問題(ボディイメージの歪みやボディイメージのズレ)の傾向を明らかにすること及びボディイメージの問題と瘦身願望, 生活行動との関連の有無について、女子大学生 285 名を分析した結果、BMI が標準体重群, 肥満群, 低体重群のいずれの群においてもボディイメージの歪みとボディイメージのズレに相関がみられることが分かった。また、瘦身願望とダイエット行動を結び付ける媒介要因があることを示唆する結果が得られた。</p>
<p>8 キーコンピテンシーの育成を目指した教材の開発—コロナ禍におけるアクティブラーニングの実践報告—</p>	<p>単著</p>	<p>令和 4 年 3 月</p>	<p>教育実践報告. 第 14 号, 2022 P 10-19 四国大学学修支援センター</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の予防に配慮しながら、キーコンピテンシーの育成を目指したアクティブラーニングを実践するための教材開発し実践報告を行った。 保育士の専門性を養成するには、座学を通し</p>

<p>「保育実習 I (施設実習)」に向けた健康管理に関する取り組みについて—「子どもの保健」との連携に着目して—</p>	<p>単著</p>	<p>令和 7 年 3 月</p>	<p>東京成徳大学 子ども学部紀要 だ 15 号</p>	<p>て習得される知識や技術、技能に関する理論と実習の事前指導、実習の諸段階、実習指導、事後指導とを往還させることが必要不可欠である。そこで、実習と関連の深い子どもの保健と保育実習 I (施設実習)との連携を図り施設実習に向けたおける健康管理を行った。この取り組みについて検証すること及び「子どもの保健」との連携で効果の見られた実践を明らかにした。 「保育実習 I (施設実習)」に向けた健康管理に関する取り組みについて—「子どもの保健」との連携に着目して—</p>
<p>(その他) (研究資金獲得状況) 1. 日本学術振興会科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)(若手研究)</p> <p>(学会発表) 9 本 (国内) 1 「災害時における家族支援の手引き」の発表</p> <p>2 心の教育における看護臨床実習の有効性に関する研究 —こころ豊かな人づくりをめざして—</p> <p>3 協働がバーンアウトに及ぼす影響についての検討—特別支援学校の医療的ケア従事者の調査から—</p> <p>4 医療的ケアにおける協働とバーンアウト</p> <p>5 学生と共につくる妊婦体験キットの開発—手作り教材を通して命の大切さを考える—</p> <p>6 特別支援学校の医療的ケア従事者の協働の成否がバーンアウトに与える影響について</p> <p>7 特別支援学校の医療的ケア従事者の協働の成否がバーンアウトに与える影響について</p> <p>8 特別支援学校の医療的ケア従事者の協働の成否がバーンアウトに与える影響について</p> <p>(海外) 9 Longitudinal burnout-</p>	<p>研究代表者</p> <p>合同発表</p> <p>単独発表</p> <p>単独発表</p> <p>単独発表</p> <p>単独発表</p> <p>単独発表</p> <p>単独発表</p> <p>単独発表</p> <p>単独発表</p>	<p>平成 30 年度～令和 4 年度</p> <p>平成 10 年 5 月</p> <p>平成 13 年 10 月</p> <p>平成 24 年 11 月</p> <p>平成 24 年 12 月</p> <p>平成 29 年 3 月</p> <p>平成 29 年 8 月</p> <p>令和 2 年 8 月</p> <p>令和 2 年 12 月</p> <p>令和元年 8</p>	<p>第 215 回日本小児科学会兵庫県地方会(神戸市)</p> <p>第 48 回兵庫県人権教育研究会中央大会(豊岡市民会館)</p> <p>第 108 回日本小児精神神経学会(神戸市)</p> <p>医療的ケアネットシンポジウム(全国大会)(大阪市)</p> <p>日本教材学会 東海・近畿・北陸支部研究会(中部大学)</p> <p>日本小児看護学会第 27 回学術集会(京都国際会議場)</p> <p>日本地域看護学会第 23 回学術集会(web 開催)</p> <p>日本看護科学学会第 40 回学術集会(web 開催)</p> <p>The Society for</p>	<p>特別支援学校の医療的ケア従事者の協働を評価するシステムづくり 2,860 千円を獲得し研究に取り組んだ。</p> <p>1998 年 3 月に出版した「災害時における家族支援の手引き」について発表した。 発表者名:北山真次 共同研究者:高田哲, 北山真次, 井出浩, 三宅芳宏, 藤井久子, <u>金山三恵子</u>他</p> <p>看護臨床実習が高校生の心の成長に及ぼす効果について発表した。</p> <p>修士論文の一部を発表した。</p> <p>特別支援学校における医療的ケアの現状と問題点について発表した。</p> <p>妊婦体験キットを作成し、自らが胎児を制作することで、その過程を通じて、命の大切さを考える学習効果が得られることなどを発表した。地域(在宅)で医療的ケアを受けながら生活している障害児を支援するには多職種の協働が重要である。教育と医療など領域の異なる専門職の協働の成否はケアの質の高/低だけでなくケア提供者のバーンアウトに繋がる可能性があること発表した。</p> <p>地域(在宅)で医療的ケアを受けながら生活している障害児を支援する専門職種の協働の成否とバーンアウトに影響する要因について発表した。</p> <p>地域(在宅)で医療的ケアを受けながら生活している障害児を支援するには多職種の協働が重要である。教育と医療など領域の異なる専門職によって協働達成感の高い/低いに影響を与える要因に違いがみられることを発表した。</p> <p>重度の障がいをもつ子どもの在宅生活支援</p>

collaboration patterns in Japanese medical care workers at special needs schools	表	月	the Study of Social Problems 69th Annual Meeting . New York, America, 2019	に関わる専門職種の協働の成否がバーンアウトに与える影響について発表した。
--	---	---	--	--------------------------------------

(注) 「研究業績等に関する事項」には、書類の作成時において未発表のものを記入しないこと。